

集落支援に関する職員アンケート調査へのご協力をお願い

平素は、(社)建設コンサルタンツ協会の活動に対して、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

(社)建設コンサルタンツ協会九州支部では、かねてより、中山間地域における人口減少・高齢化の進行による集落維持の困難化、及び担い手不足による耕作放棄地の増加や森林の荒廃などの進行による国土の荒廃・地域社会の衰退に対して、私どもが平素より培ってきた社会資本整備や地域計画策定の技術を生かしながらその維持・再生に対して支援できないかと検討してまいりました。

この検討を通して、農山漁村部（中山間地域等）と都市部との連携の必要性を痛感し、九州の農山漁村部と都市部とを結ぶ共助のネットワークづくりに向けて具体的な活動をすべく、平成20年11月に「九州 郷づくり共助ネットワーク研究会」（略称、「共助研」）を発足しました。

当会は、この共助のネットワークづくりに向けて、「地域づくりの事例分析と連携ネットワークの形成（地域交流分析）」、「地域づくりツールとしての分析手法の研究と活用拡大（GIS活用）」、「農山漁村部の地域づくりのサポート（地域支援）」を3つの柱として活動を行っております。

この度、九州内の各自治体における小規模等集落支援の取り組み状況、及び今後の取り組み意向について把握し、今後の当会活動における重要な基礎情報として整理することを目的として、アンケート調査の実施を企図いたしました。

つきましては、当会によるこのアンケート調査の実施にご理解を賜り、ご協力いただきますよう切にお願い申し上げます。

平成22年8月11日

九州 郷づくり共助ネットワーク研究会

会長 針貝 武紀

この解答用紙は、配布した共助研の担当者に8月31日(火)までに提出ください。提出方法は、郵送、e-mail、faxなど、いずれでも結構です。

共助研とは・・・

九州 郷づくり共助ネットワーク研究会(通称;共助研)は、『地方と都市の交流を進める仕組みづくり』で元気な地域づくりを支援する集団です。詳しくは、共助研ホームページをご覧ください。

<http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/q-sato/>

集落支援に対する職員アンケート調査票

問1. 共助研の存在や、活動内容をどの程度ご存知でしたか？ あてはまるものをいくつでも選び、番号を○で囲んでください。

- 1) 今まで全く知らなかった
- 2) 名前は知っていた（聞いたことはあった）
- 3) GIS技術を活用した地域分析の取り組みを知っていた
- 4) 活性化の事例等を収集・分析していることを知っていた
- 5) 豊後大野市犬飼町の長谷地区で支援活動していることを知っていた
- 6) その他（具体的に _____）

問2. 貴市(町村)内に過疎化や高齢化の進展が著しいなど、存続が危ぶまれる集落がありますか？
あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

- 1) ある
- 2) ない

問2で「ある」と回答した方にお聞きします。

問3. 存続が危ぶまれる集落への対応策はありますか？あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。また、ある場合は、実施している、又は、実施を予定している対策を記入ください。

（自治体を実施しているもの）

- 1) ない
- 2) 今はないが、考えや予定はある（具体的に _____）
- 3) ある（具体的に _____）

（NPOなど自治体以外で実施しているもの）

- 1) ない
- 2) 今はないが、考えや予定はある（具体的に _____）
- 3) ある（具体的に _____）

問4. 集落の実態を把握するために、モニタリングしていることはありますか？また、誰が実施していますか？あてはまるものをいくつでも選び、番号を○で囲んでください。

	職員	NPO	専門家	他
1) 集落単位の人口、世帯数の推移の統計データ				
2) 急傾斜地崩壊危険区域などの分布や、避難路等確保の状況				
3) お年寄りの交通手段				
4) 森林や農地の所有者の状況（相続状況、所有者の年齢など）				
5) 森林や農地の管理の状況（耕作放棄地などの分布状況）				
6) 鳥獣被害の届け出状況				
7) ゴミ等の不法投棄の状況				
8) その他（具体的に)				

問5. 集落の実態を把握するために、GISを活用した先進的な取り組みをされている自治体や研究機関がありますが、貴市(町村)でそのような考えはありますか？あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1) GISを活用した取り組みを実施している（具体的に)
2) 今後、GISを活用した取り組みを実施したい
3) 特に実施していないし、今後とも考えていない
4) 興味はあるが、良くわからない
5) その他（具体的に)

問5で「1 GISを活用した取り組みを実施している」と回答した方にお聞きします。

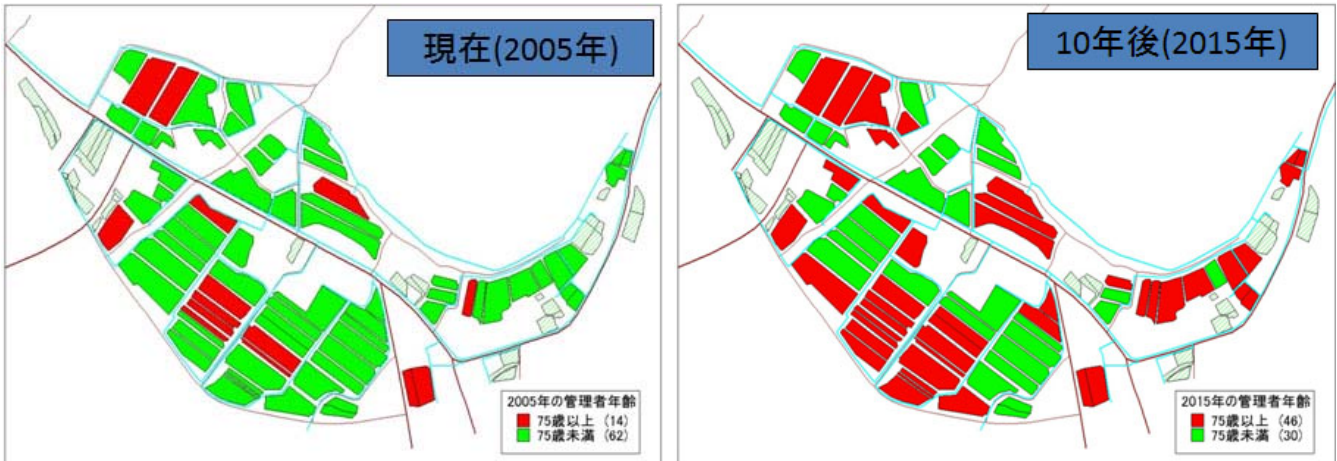
問6. GISを活用する上で困っていることはありますか？あてはまるものをいくつでも選び、番号を○で囲んでください。

1) 特に困っていることはない
2) 費用面（費用が適正かどうか判断できない、コストを抑えたい 等）
3) 人材面（専門スタッフが足りない、現有スタッフには知識がない 等）
4) 管理面（メンテナンスや更新がされていない 等）
5) その他（具体的に)

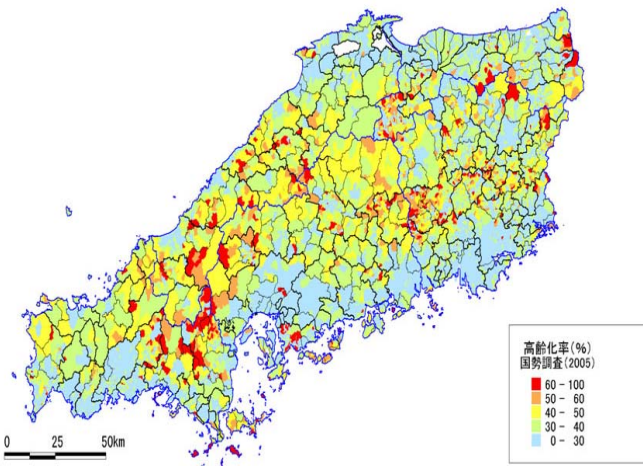
問5で「2 今後、GISを活用した取り組みを実施したい」と回答した方にお聞きします。

問7. 取り組みたいイメージはありますか？ あてはまるものをいくつでも選び、事例番号を○で囲んでください。

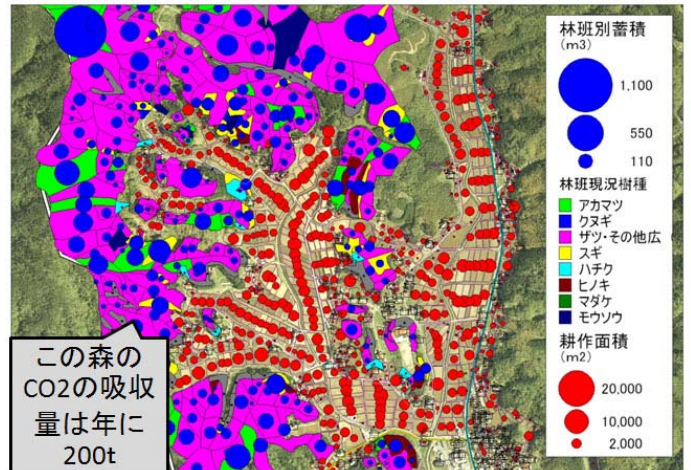
例1) 農地の一筆別所有者年齢別の分布状況 (現在と10年後)



例2) 地区別高齢化率の分布状況



例3) 集落の環境容量 (CO2 吸収量) の把握



事例の出典：島根県中山間地域研究センター；藤山

問8. 共助研に期待することがありましたら、ご自由にご記入ください。もし、記載スペースが足りない場合は、お手数でも別紙に書いてご提出ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

問合せ先：平井、前田

電話番号 092-262-7311 (株)東京建設コンサルタント)